

池坊岡山橋支部
玉野で華道展



新春を感じさせる
優美な作品が並んだ会場

華道家元池坊岡山橋支部主催の「いけばな池坊展」が18日、玉野市宇野の市立図書館・中央公民館ギャラリーで始まった。岡山、倉敷、玉野市などの会員が新春らしい優美な作品を展示し、訪れた華道ファンらを魅了している。19日まで。

新春らしい優美な作品

大作や色鮮やか自由花



ボケ、ヤナギ、マツなどを組み合わせた大作

テーマは「華・花・に」とらわれず和洋の花を生ける「自由花」では、色鮮やかなパンジーやスイートピー、カーネーションを絡めた生け花などが目を引いていた。

岡山南高（岡山市北区奥田）と玉野高（玉野市築港）の各華道部の作品、小学生による力作も展示された。

室町時代から続く様式の「立花」では、青々とした枝葉にピンクのツバキ、オレンジのストレリチアが映える作品などを展示。形式は素晴らしい作品ばかりで見ていて癒やされそうですと話していた。

西日本豪雨で被災した倉敷市真備町だった時に開く。入場無料。（内田貴大）

前回の2018年度は2年ぶりの開催。19日午前10時〜午後4時に開く。入場無料。（内田貴大）